

## 巻頭言

### 2024年新春の御挨拶

---

一般財団法人 日本建築総合試験所  
理事長 上谷 宏二



2024年・辰年の年頭に当たって、謹んで新春の御挨拶を申し上げます。併せて、皆様方には平素より当法人に対し多大なる御高配を賜っておりますことに深く感謝申し上げます。

日本建築総合試験所GBRCは、1964年の設立から数えて丁度60周年を迎えます。その間、建築業界の発展と国民生活の安全安心の基盤を支えてまいりました。これも一重に皆さま方の温かいご支援の賜物と感謝致しております。今年の10月2日(水)には、設立60周年の記念祝賀会を開催し、業務・サービスの現状と将来に向けての更なる発展の目標を披露させていただく予定です。その折には、皆さまからのご要望も直接お伺いできる場を設けたいと考えております。

近年、我国のあらゆる分野で今まで経験したことのない急激な変化が生じております。このような状況の下、社会の安全と安心、地球環境の保全と持続性などに関連して、GBRCが第三者機関として建設産業・社会に貢献すべき課題は数多くあります。個別の製品や要素技術については、現在既にある程度確立された感があります。これに対し、将来に向けて社会で求められる安全・安心や環境保全に関する性能や目標は、複数の要素から成り立つ総合システムとして制御・設計・評価すべきものが多くあります。つまり、「要素からシステムへの転換」が、第三者機関に求められるキーワードになると考えられます。材料、構造、環境などの試験・研究・性能認証といった幅広い事業を展開してきたGBRCの蓄積が、ここで役立つものと思っております。また、システム思考やDX(IT・AI技術、数値解析、最適化技術など)が重要性を増してくるでしょう。

GBRCは、中長期計画「ビジョン&アクションプラン2030」を掲げて昨年度その第一歩を踏み出しました。経営企画室の設置、DX推進による既存業務の効率化と顧客サービスの向上、新規事業創出のための調査・研究活動を積極的に展開しております。

今後も皆さま方と共に一層の努力を重ねてまいり所存ですので、本年も皆様方の力強いご支援を重ねてお願い申し上げます。